

---

資料編Ⅱ

## 研究室の流れ

年	月	日	行	事
1992	6	3	開院	
	6	24	動物による体外受精実験開始	
	7	13	動物による体外受精実験終了	
	7	27	IVF-ET 臨床応用開始	
	9	16	GIFT 臨床応用開始	
	10	1	顕微授精セット設置	
	10	6	IVF-ET による初妊娠	
1993	2	1	ミリQシステム導入	
	3	3	緩慢凍結胚移植法臨床応用開始	
	3	25	GIFT による初妊娠	
	6	10	IVF-ET による初出産	
	8	30	PZD による顕微授精臨床応用開始	
	9	21	ガス自動切換え装置設置	
	10	4	ICSI による顕微授精臨床応用開始	
	10	12	IVF-TET の臨床応用開始	
	10	22	プログラムフリーザー ET-1 導入	
	10	23	SUZI による顕微授精臨床応用開始	
	10	27	SUZI-TET の臨床応用開始	
	10	28	PZD による初妊娠	
	12	2	GIFT での初出産	
	12	24	IVF-TET による初妊娠	
1994	2	4	MESA 臨床応用開始	
	2	8	ET 後の安静時間4時間へ	
	2	24	冷凍冷蔵庫設置	
	3	13	SUZI による初妊娠	
	7	1	緩慢凍結胚移植法による初妊娠	
	7	7	クリーンベンチ設置 (2台目)	
	7	16	緩慢凍結胚移植法による初妊娠	
	7	16	AHA 臨床応用開始	
	7	25	顕微授精セットに微分干渉装置追加	
	8	2	IVF-TET による初出産	
	9	24	ICSI による初妊娠	
	11	10	SUZI による初出産	
	11	14	凍結精子を使用するICSI 臨床応用開始	
	11	29	TESE を使用するICSI 臨床応用開始	
	12	1	研究室改造	
	12	20	ICSI-TET 臨床応用開始	
1995	1	21	緩慢凍結胚移植法による初出産	
	2	1	化学射精精子を使用したICSI による初妊娠	
	2	4	MESA-ICSI による初妊娠	

年	月	日	行	事
1995	2	27	ICSI-TETによる初妊娠	
	3	8	PZDによる初出産	
	4	10	凍結精子を使用しでのICSIによる初妊娠	
	5	11	空気殺菌消臭集塵装置設置 (3台)	
	5	28	ICSIによる初出産	
	7	20	ZIFTの臨床応用開始	
	10	6	研究室改造	
	10	11	化学射精精子を使用したICSIによる初出産	
	10	24	RESA精子を使用したICSI臨床応用開始	
	11	9	RESA精子を使用したICSIによる初妊娠	
	11	14	滅菌手袋パウダーフリー使用開始	
	12	15	凍結精子を使用しでのICSIによる初出産	
	1996	1	23	体外受精費用改訂 (15万へ)
2		9	ZIFTによる初妊娠	
2		20	SQA導入	
3		1	顕微授精セット (2台目)、クリーンベンチ (3台目) 設置	
3		11	市販 medium 使用開始	
4		11	MESA-ICSIによる初出産	
5		28	移植胚を3個に限定	
7		18	RESA精子を使用したICSIによる初出産	
9		17	ZIFTによる初出産	
1997	2	1	ディーブフリーザー設置	
	3	5	SQA II B導入	
	3	14	TESE-ICSIによる初妊娠	
	4	1	動物実験室設置	
	6	4	精子形態評価法 Strict・Criteria 臨床応用開始	
	8	20	ホルモン測定機器バイダス導入	
11	1	3日目胚移植臨床応用開始		
1998	1	10	生殖医療研究所設計開始	
	1	20	FISH実験開始	
	4	15	生殖医療研究所設計終了	
	4	27	生殖医療研究所建設工事開始	
	9	30	生殖医療研究所建設工事終了	
	10	1	生殖医療研究所、研究室内クオリティーコントロール開始	
	10	15	電気泳動装置導入	
	10	26	5日目 (胚盤胞期) 胚移植臨床応用開始	
	12	1	クリーンベンチ3台 (6台目) 設置	
12	11	胚個別培養開始		
1999	1	4	生殖医療研究所臨床運用開始	
	1	4	生殖医療研究所実験室運用開始	
	7	19	急速凍結法 vitrification 法導入	
	10	8	ホルモン測定機器エクレーシス導入	
	10	23	急速凍結法 vitrification 法による初妊娠	
10	26	採卵室拡張工事		
2000	5	30	実験室に院内 LAN パソコン導入	

年	月	日	行	事
2000	7	3	急速凍結法 vitrification 法による初出産	
	10	1	蛍光顕微鏡画像取り込み装置導入	
	10	14	HOST 臨床応用開始	
	11	21	Hatching stage 胚移植施行開始	
	12	1	動物飼育施設設立	
2001	2	14	移植胚数を2個に限定	
	5	22	凍結胚カード使用開始	
	6	29	クリーンベンチ（7台目）設置	
	8	3	停電時用ブザー設置	
	12	5	ET後の安静時間15分へ	
2002	7	1	へパフィルター交換	

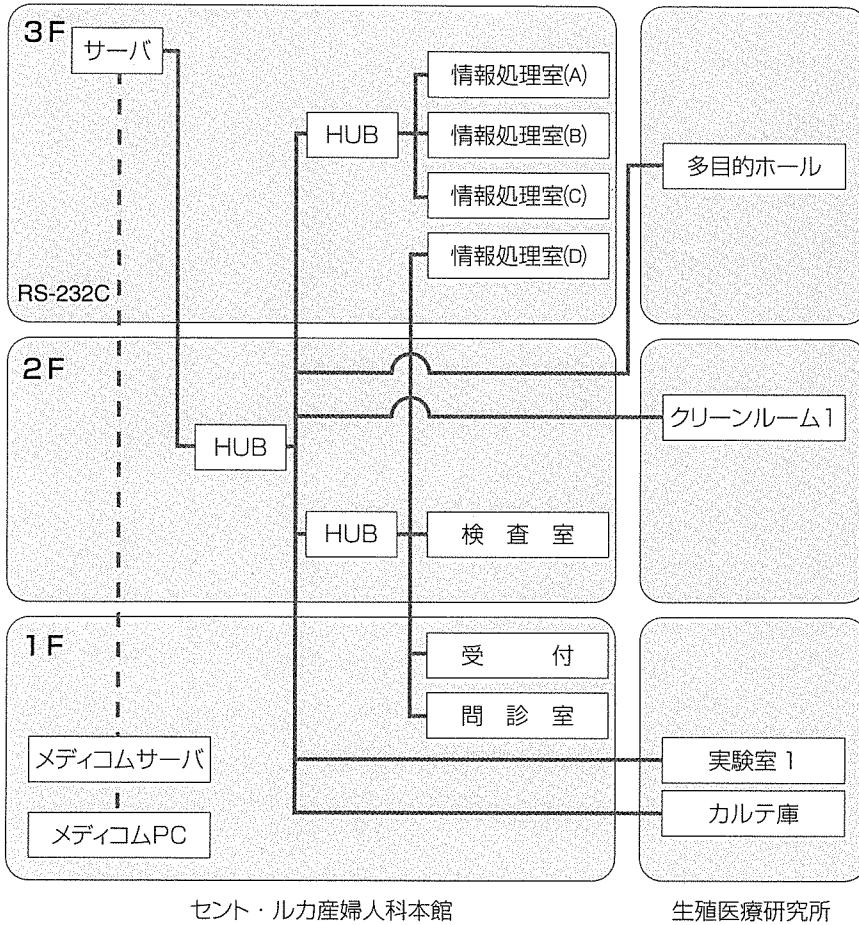
## 情報処理室システム開発・運用について

年	月	行	事
1992	10		システム打ち合わせ
	11		クリニベース打ち合わせ
	11		メディコム/クリニベース打ち合わせ
1993	6		データ管理のデモ使用
	9		システム運用開始(診療データ管理システム)
1994	4		統計処理システム開発開始
	9		統計処理システム開発開始『クリニスタット』運用開始
	10		Power Mac 7100/66及び周辺機器運用開始
1995	7		新 Ver.の統計処理システム開発開始
	9		統計処理システム『クリニスタット Ver.2.2』運用開始
1996	11		Power Book 5300(2台目)他運用開始
1997	2		Power Mac 7600/132他運用開始
	6		情報処理室設置
	6		Inter Net 接続(ISDN)開始(sentluke@fat.coara.or.jp)
	7		次期不妊システム開発打ち合わせ開始
	10		Home Page 開設( <a href="http://www.coara.or.jp/~sentluke">http://www.coara.or.jp/~sentluke</a> ) E-mailによる質問受付開始
1998	8		生殖医療支援ソフト SarahBase 専用院内 LAN 工事
	8		生殖医療支援ソフト SarahBase サーバー及び端末導入(Dell PC導入)
1999	1		クリニベースから、生殖医療支援ソフト SarahBase へデータ移行
	1		生殖医療支援ソフト SarahBase 運用開始
	1		第1回生殖医療支援ソフト(SarahBase)を学ぶ講習会開催(東京)
	4		第2回生殖医療支援ソフト(SarahBase)を学ぶ講習会開催(東京)
	5		第3回生殖医療支援ソフト(SarahBase)を学ぶ講習会開催(大阪)
	5		生殖医療支援ソフト(SarahBase)販売開始
	7		(有)メディテック・ルカ発足
	9		ORACLE バージョンアップ・HUB 増設工事
	10		(有)メディテック・ルカ始動
	11		生殖医療支援ソフト SarahBase オプションとして 日立レセコン頭書受診機能・診療データ取り込み機能追加
	11		西山産婦人科様(三重県)生殖医療支援ソフト SarahBase 納入
2000	4		レディースクリニック京野様(宮城県) 生殖医療支援ソフト SarahBase 納入
	4		生殖医療支援ソフト SarahBase データ排出プログラム変更
	5		実験室に生殖医療支援ソフト SarahBase 用端末導入
	9		i-mode用 Home Page 開設 ( <a href="http://www.coara.or.jp/~sentluke/i-mode">http://www.coara.or.jp/~sentluke/i-mode</a> )
	2001	2	
	3		パソコンプロジェクター導入(三菱 LVP-X 400 B)
	3		ケーブルインターネット専用 Note PC 導入(実験室・クリーンルーム他)

年	月	行	事	
2001	3		Note PC 導入(看護部)	
	3		ケーブルインターネット開通(各部署にてアドレス取得)	
	4		Home Page アドレス変更( <a href="http://www.oct-net.ne.jp/~st-luke">http://www.oct-net.ne.jp/~st-luke</a> ) i-mode 用 Home Page アドレス変更 ( <a href="http://www.oct-net.ne.jp/~st-luke/i-mode">http://www.oct-net.ne.jp/~st-luke/i-mode</a> ) 従来の( <a href="http://www.coara.or.jp/~sentluke">http://www.coara.or.jp/~sentluke</a> )はミラーサーバとして利用	
	8		サーバー室及び情報処理室電気回路分け工事	
	8		新サーバー導入(Dell POWEREDGE 1400)	
	8		サーバー室へサーバー移動	
	10		新生 SarahBase 開発に関して業者選定開始	
	10		IT 委員会発足	
	2002	3		新生 SarahBase 開発業者決定
		4		山王病院様(東京)生殖医療支援ソフト SarahBase 納入
4			新生 SarahBase システム設計打ち合わせ開始	

## 院内LAN接続構成図 (SarahBase&インターネット)

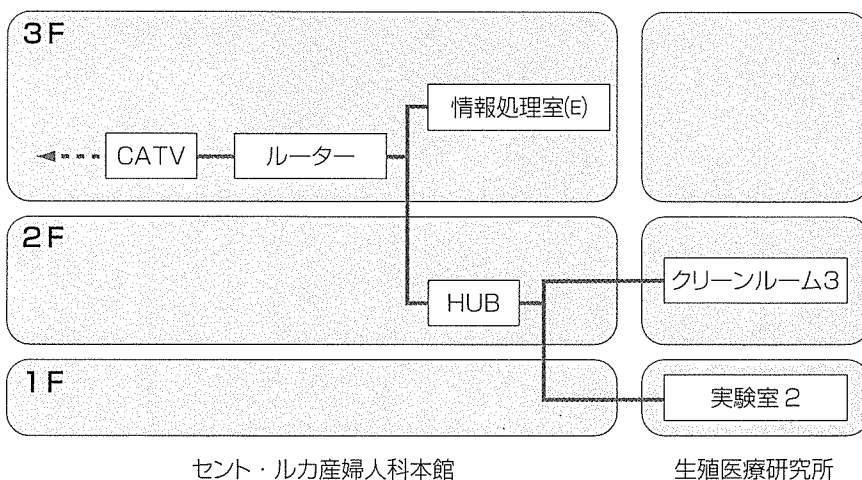
### ■院内LAN接続構成図 (SarahBase)



セント・ルカ産婦人科本館

生殖医療研究所

### ■院内LAN接続構成図 (インターネット)



セント・ルカ産婦人科本館

生殖医療研究所

## 新聞記事より (2000年)

### 実妊娠率は86.3%に

大分市のセント・ルカ産婦人科

#### 不妊症治療の取り組みで

不妊症治療に取り組んでいる大分市、セント・ルカ産婦人科(宇津宮隆史院長)が「一九九九年度年報」を発行した。

それによると、九二(平成四)年六月の開院から今年五月末までの八年間に奉見を希望して受診した女性は四千三百九十八人で、うち妊娠件数は千二百四十五件となった。妊娠に至らなかった女性(二千四百一十五人)や治療を途中であきらめた女性(二千百十三人)を除くと、患者当たり

実妊娠率は八六・三%となった。また、妊娠に至った主な有効治療法のうち、体外受精や顕微授精などのいわゆる生殖補助医療は七百六例(二一・四%)だった。妊娠結果が判明している千四百三十二例の中では双胎が百五十三例、品胎が十例あり、出生児数は千六百五児になっている。

宇津宮院長は巻頭言で、不妊症治療費の助成が進展しないことについて「原因が整っていないことにある」と言い、コ・メディカル教育、施設と設備の整備、治療成績の基盤の統一化などを挙げている。

2000年8月13日  
大分合同新聞

「男性不妊症」50人が学ぶ

「第七回セント・ルカセミナー」が二十日、大分市津守富岡のセント・ルカ生殖医療研究所であった。セント・ルカ産婦人科(宇津宮隆史院長、スタッフ三千人)が毎年一回開いており、今回のテーマは「男性不妊症」。全国の産婦人科・泌尿器科の医師ら約五十人が出席した。



毎年開かれているセント・ルカセミナー



星和彦教授

午前中はシンポジウムがあり、医師六人が男性不妊症の原因や診察の進め方などを発表した。精子の通り道に障害のある「閉塞(へいそく)性無精子症」と、造精機能がなく、精巣そのものにダメージのある「非閉塞性無精子症」をめぐって不妊治療の実績を紹介。T.E.S.E(精子を切り取ってわずかな精子を抽出する)やI.C.S.I(卵細胞質内精子注入法)の留意点などを説明した。

午後は、星和彦・山梨医科大学大産婦人科教授が「生殖医学の現状と問題点」と題して講演した。

午前中はシンポジウムがあり、医師六人が男性不妊症の原因や診察の進め方などを発表した。精子の通り道に障害のある「閉塞(へいそく)性無精子症」と、造精機能がなく、精巣そのものにダメージのある「非閉塞性無精子症」をめぐって不妊治療の実績を紹介。T.E.S.E(精子を切り取ってわずかな精子を抽出する)やI.C.S.I(卵細胞質内精子注入法)の留意点などを説明した。

午後は、星和彦・山梨医科大学大産婦人科教授が「生殖医学の現状と問題点」と題して講演した。

2000年8月28日 大分合同新聞